

平成 27 年 1 月 26 日

締切延長しております！まだまだ募集中！ 2015/1/26 現在

各 位

日本ダイカストマシン工業会
技術セミナー実行委員会委員長

第15回 日本ダイカストマシン工業会 技術セミナーのご案内 ～ ダイカスト製造と設備に係る最新技術 ～

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別なるご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当工業会では毎年ご高評を頂いております技術セミナーを関連業界団体様の協賛を得て今年度も開催することとなりました。

時節柄ご多忙とは存じますが、幅広い関係者の皆様のご参加をお待ち致しております。

敬具

- ・ 日 時 平成27年2月6日（金）10：00～16：00
- ・ 会 場 機械振興会館 地下2階ホール
東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館
Tel 03-3434-8216（機械振興会館代表番号）
- ・ 参加費 主催団体及び協賛団体会員 15,000円 / 非会員 20,000円
※ 参加費にはテキストと昼食が含まれます。

別添のお申込詳細をご確認の上 FAXにてお申込下さい



- 地下鉄
東京メトロ 日比谷線 神谷町駅（徒歩8分）
都営地下鉄 三田線 御成門駅（徒歩10分）
都営地下鉄 大江戸線 赤羽橋駅（徒歩10分）
都営地下鉄 浅草線 大門駅（徒歩15分）
- JR
浜松町駅（徒歩17分）
- 都営バス
浜松町～東京タワー路線 東京タワー前

主催団体：日本ダイカストマシン工業会

協賛団体：一般社団法人日本ダイカスト協会、日本ダイカスト工業協同組合

一般社団法人日本自動車部品工業会、一般社団法人日本鑄造協会

公益社団法人日本鑄造工学会、一般財団法人素形材センター（順不同）

= お申込の詳細 =

- 参加費 主催団体及び協賛団体 会員 15,000円
非会員 20,000円
※参加費にはテキストと昼食が含まれます。

- 定員 110名 (定員に達し次第締切りとさせていただきます)

- 申込方法 別添の「参加申込書」に必要事項をご記入の上
平成27年1月23日(金)までにFAXにてお申込下さい。
※締切延長しております！まだまだ募集中！ 2015/1/26 現在

お申込お受け次第、参加証、請求書をFAXさせていただきます。

- お支払い 平成27年1月30日(金)までに指定の銀行口座へお振込下さい。
※①銀行振込受取書をもって領収書に代えさせていただきます。
②領収書をご入用の場合はお手数ですが当会までご連絡下さい。
③平成27年1月30日以前にお取り消しのご連絡を頂いた場合は
お支払済みの参加費は振り込み手数料お客様負担にて返金させて
頂きます。

- 取り消し 平成27年1月31日(土)以降のお取り消しにつきましては
上記会費の返金は出来ませんのでご了承下さい。
欠席の場合はテキストを後日送付させていただきます。

—— << お申込の流れ >> ——

1. 指定申し込み用紙にご記入の上、当工業会へFAX (03-3459-6911)
↓
2. 申込受付後、当工業会より請求書と参加証を貴社へFAX
(5日以内にFAXが無い場合は恐れ入りますがご連絡下さい)
↓
3. 請求書に記載してある指定口座に参加費のお振込み (平成27年1月30日まで)
↓
4. 当日は参加証をご持参下さい。
(参加証に記載の受付番号を受付係の者にお伝え頂くと受付がスムーズに行えます)
↓
5. 欠席の場合は後日テキストを郵送致します。

【主催】日本ダイカストマシン工業会

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 301 一般財団法人素形材センター内

TEL : 03-6809-1509 FAX:03-3459-6911 アドレス : jdmma@sokeizai.or.jp

営業時間 9:00~17:00 (土日祝日休み)

第15回 日本ダイカストマシン工業会技術セミナー FAX 参加申込書

主催：日本ダイカストマシン工業会 行

FAX： 03-3459-6911

・日時 平成27年2月6日（金）10:00～16:00

・会場 機械振興会館 地下2階ホール

締切り 平成27年1月23日（金）※締切延長しております！まだまだ募集中！2015/1/26 現在

（締切日前に定員に達した場合は、その時点で受付を終了させていただきますので、あらかじめご了承ください。）

※ 複数の方がお申込の場合は、本参加申込書をコピーして各自1枚ずつFAXして下さい

会社名		
所属		
役職名		
フリカナ 氏名		
住所	〒	
電話番号		
F A X		
E - mail		
所属する団体に ○印を付けて ください。 =会費= 会員 15,000 円 非会員 20,000 円	<input type="checkbox"/>	日本ダイカストマシン工業会
	<input type="checkbox"/>	(一社) 日本ダイカスト協会
	<input type="checkbox"/>	日本ダイカスト工業協同組合
	<input type="checkbox"/>	(一社) 日本自動車部品工業会
	<input type="checkbox"/>	(一社) 日本鑄造協会
	<input type="checkbox"/>	(公社) 日本鑄造工学会
	<input type="checkbox"/>	(一財) 素形材センター
<input type="checkbox"/>	非会員	
備考 ※※※27	お振込み予定日がお分かりになる場合はご記入いただければ幸いです。 年 月 日振込予定	

<個人情報の保護法に関する対応>

本セミナーでご記入いただいた個人情報は、本セミナーに関わる目的にのみ使用し、他の目的には使用いたしません。

第15回 日本ダイカストマシン工業会 技術セミナープログラム — ダイカスト製造と設備に係る最新技術 —

日 時：平成27年2月6日（金）10：00～16：00

会 場：機械振興会館 地下2階 ホール

東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館

<プログラム>

1. 開会挨拶	日本ダイカストマシン工業会 会長 久次 幸夫（宇部興産機械株式会社）	10：00～10：05
2. 来賓挨拶	経済産業省 製造産業局 素形材産業室	10：05～10：10
3. 需要動向等	日本ダイカストマシン工業会 技術委員会 委員 小川 博之（株式会社ヒシヌママシナリー）	10：10～10：20
4. 『グローバル展開を見据えたダイカスト開発について』 トヨタ自動車株式会社 鋳造生技部 室長 小川 俊一 氏		10：20～11：05
【内容】 自動車を取り巻くマーケットは新興国を中心に急速なテンポで拡大、進行している。特に当地での競争力確保は最重要課題となっている。今回は競争力向上を目的とした、自動車機能向上の為のアルミ化取り組み及びダイカスト要素技術の開発を事例に基づき紹介する。		
5. 『鋳造 CAE ソフト ADSTEFAN による解析評価事例』 株式会社日立産業制御ソリューションズ 営業本部 システム第三営業部 部長代理 谷本 雅俊 氏		11：05～11：50
【内容】 ダイカスト法は、複雑形状の製品製造ができ、生産性・製品の寸法、精度・鋳肌面などが優れているという大きな特徴をもっている。反面、引け巣、空気の巻き込み、湯境い、湯回り不良などの致命的な鋳造不良も発生し、製品品質の変動が激しいという欠陥も合わせもっている。製品開発の初期段階から鋳造 CAE 解析による仮想試作、仮想試験により少ない試作回数で高品質の製品開発が行える。		
6. 昼食		11：50～12：45

<p>7. 『アンダーヒーターの現状の活用』 株式会社トウnetz 取締役副社長 望月 城也太 氏 12:45～13:30</p> <p>【内容】 アンダーヒーターが1981年に(株)トウnetzが着手して早35年。過去の活用方法から現在の活用方法を含め将来的視野に立った展望を説明致します。</p>
<p>8. 『ダイカストマシン設備の環境改善について』 東洋機械金属株式会社 設計本部 ダイカスト設計部 技師 石橋 史隆 氏 13:30～14:15</p> <p>【内容】 ダイカストマシンの電動化をはじめ、設備の省エネ化が進んでいる。本講演では省エネ型ダイカストマシンの環境改善事例を中心に、その効果と特徴等について紹介します。</p>
<p>9. 休憩 14:15～14:25</p>
<p>10. 『ハイブリッドフィルキャストによる大型ダイカスト部品の casting』 宇部興産機械株式会社 技術開発部金属成形技術 Gr グループリーダー 佐々木 寛人 氏 14:25～15:10</p> <p>【内容】 低圧 casting とダイカストの特徴を組み込んだ新しい casting プロセス (ハイブリッドフィルキャスト) にて自動車のサスペンションメンバーの casting を試みた。0.1MPa 未満の微弱なガス加圧をベースとする溶湯充填において薄肉かつ流動長の大きな製品に対する湯流れ性を確保するため、精密ガス圧制御による充填パターンや、ガス加圧と連携したキャビティ減圧を実施した。また、押湯として機能する湯溜り部の加圧タイミングや加圧速度の最適化を図った。最適化された casting 条件と、それにより得られたサンプルの品質について紹介する。</p>
<p>11. 『CT スキャナによるダイカスト欠陥の解析』 東芝 IT コントロールシステム株式会社 検査・メカトロシステム事業部 大門 弘典 氏 東芝機械株式会社 ダイカスト技術部 ダイカスト開発・営業技術担当 林 勇人 氏 15:10～15:55</p> <p>【内容】 近年のダイカスト製品への要求品質は向上の一途を辿っている。そのため不良を検出するシステムも年々進歩していき、様々な手法がとられるようになった。その中に非破壊検査が可能な X 線透過装置がある。本講義ではダイカストにおける X 線透過装置の意義と共に一昔とは違った【見える化】について紹介する。</p>
<p>12. 閉会挨拶 日本ダイカストマシン工業会 技術委員会 委員長 池田 伸吾 (東洋機械金属株式会社) 15:55～16:00</p>

主 催：日本ダイカストマシン工業会
〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 301 一般財団法人素形材センター内
TEL：03-6809-1509 FAX：03-3459-6911

協賛団体：一般社団法人日本ダイカスト協会、日本ダイカスト工業協同組合、一般社団法人日本自動車部品工業会、
一般社団法人日本 casting 協会、公益社団法人日本 casting 工学会、一般財団法人素形材センター (順不同)